済生会　中期事業計画（平成 25～29 年度）

（済生会呉病院）

Ⅰ　はじめに

100 周年記念式典にて天皇陛下から賜った「困難な状況に置かれている人々を支える済生会の活動は極めて重要」「済生会の活動が人々の幸せを一層資するよう願う」とのおことばを礎とし、生活に困っている人たちを支援し、最先端の医療技術と思いやりの心で地域の「いのち」を守り、生活困難者、孤立する高齢者、障害者、子どもなどあらゆる人を優しく包含する懐の深い地域の再構築に寄与することこそ済生会の使命と考え、この使命を果たすべく当院の平成 25 年度～29 年度の 5 年間に取組むべき事業を記述する。

Ⅱ　地域特性を生かした背景及びビジョン

当院が含まれる広島県呉二次医療圏は、広島県南西部に位置し、広域合併に伴い行政区域は呉市と江田島市の 2 市となっている。位置的には「沿岸部」地域と、江田島・能美島・倉橋島・上蒲刈島・下蒲刈島・豊島・大崎上島などの「島しょ部」からなり面積は約 454 平方キロメートル、人口は約 28 万人で全体的に減少傾向にある。高齢者の占める割合は平成 17 年 10 月現在広島県平均 20.9%に対し 26.2%で広島県平均より 5.3 ポイント高くなっている。当院は二次救急医療施設（病院群輪番制病院）として中国労災病院、呉共済病院と共に重症患者に対する救急医療に対応している。また圏域には無医地区 2 か所（呉市安浦町市原、呉市安浦町塩谷）および無医地区に準じる地区 2 か所（呉市豊浜町斎島、呉市豊町三角島）があり、これらの地区における 65 歳以上の高齢者は、陸地部の呉市安浦町市原、塩谷では 3～4 割あまり、島しょ部の呉市豊浜町斎島、呉市豊町三角島では 7 割余で、これらの地区を含む 18 地区において診療船「済生丸」による巡回診療を昭和 37 年より行っている。

当院のビジョン

○人間尊重（Humanity）

患者様の人権を尊重し、プライバシーの保護に努めます

○良質な医療（High quality）

生命の尊重と人間愛とを基本とし、安全で質の高い医療の提供に努めます

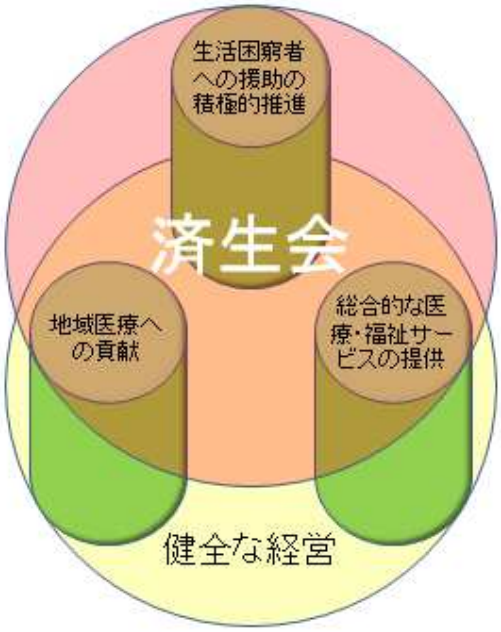
○快適な療養環境（Hospitality）

患者様が安心して、療養ができる快適な医療環境の提供に努めます

以上の 3H を柱に、地域における保健・医療・福祉のサービスを推進して参ります。

Ⅲ　済生会呉病院が果たすべき役割

当院は呉市を中心とする二次医療圏（対象人口 28 万人）の中にあって二次救急を担い、予防医学から医療・介護まで、併設の居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションとともに様々な観点から疾病を取り扱う地域密着型病院として地域に貢献します。また、今後はへき地において在宅医療が重要となり、住民ひとり一人の健康が保持されるようへき地医療体制の確保が必要となります。今後も「新済生丸」にて巡回診療を継続します。



生活困窮者への援助の積極的推進

○　無低事業の実績率の目標

平成 25 年度　実積率 10%

○　無低事業の周知活動

院内：市民税非課税の限度額認定証提示者へのパンフレット配布

：夏季・冬季の一定期間、会計窓口で無低の記事が掲載されたチラシを配布

院外：ホームレス自立支援会議、更生保護施設連絡協議会出席の際の周知活動

：福祉事務所・ハローワークへの定期的訪問

○　なでしこプラン

：婦人保護施設での保健教育活動は現在年 1 回だが、内容や回数について施設側と協議し回数増に努める

：健診料の減免について、近隣の母子生活支援施設に周知しているが、利用に至っていないため、再度周知活動を行う

：支部で行っているホームレスの無料健診は、レントゲン撮影が出来ないなどの難点があるため、済生丸を近隣の港湾に接岸して健診活動に利用出来るかどうか、関係機関と協議する

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
無料低額診療の実施率	計画値	10.0%	10.2%	10.3%	10.4%	10.5%
なでしこプランの対象者数	計画値	35 件	37 件	40 件	42 件	45 件

地域医療への貢献

○　二次輪番病院としての救急医療へのさらなる対応

○　糖尿病教育入院の充実

○　平成 25 年 7 月進水予定の「新済生丸」にて、瀬戸内海巡回診療を継続し、へき地医療に貢献

○　脳卒中、心筋梗塞発症予防に向けた取り組み（減塩活動）

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
がん	**計画値**	135 件	140 件	145 件	150 件	155 件
糖尿病	**計画値**	2,890 件	2,900 件	2,910 件	2,920 件	2,930 件
救急医療	**計画値**	1,400 件	1,420 件	1,420 件	1,440 件	1,440 件
へき地医療	**計画値**	350 件	380 件	380 件	380 件	380 件
入院患者満足度	**計画値**	84.0%	86.0%	86.0%	88.0%	88.0%
紹介率	**計画値**	41.0%	41.0%	42.0%	42.0%	43.0%
逆紹介率	**計画値**	26.0%	26.5%	27.0%	27.5%	28.0%

総合的な医療・福祉サービスの提供

○ 当院が行う地域での健康教室などを通じ、患者側及び地元住民の当院へのニーズを調査する

○ 医師の確保と増員を図り、標榜科目も増やすことで、多様な地域ニーズに対応出来る体制を整える

○ 現在行っている安芸地区医師会との病診連携連絡協議会、撫子医会、島しょ部医師会との学術講演会を今後も継続し、地元開業医との交流を図りつつ医療連携を強化するとともに、開業医の当院へのニーズの把握に努める

○ 併設している居宅介護支援事業者、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション事業所を活用して、在宅医療への移行をさらに推進する

Ⅳ　経営の健全化

○ 救急患者や紹介患者の積極的な受け入れ・地域病院との連携強化

○ 1 日あたり入院患者 127 人以上の厳守

○ 入院基本料 10 対 1 や看護補助加算 50 対 1 の維持（入院基本料は 7 対 1 を目標）

○ 広島病院との共同購入および本部主導の共同購入への積極的参加による材料費の削減

○ 経費や委託契約などの見直しや適正化の推進

（単位：千円）

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
医業収益	計画値	2,469,899	2,498,242	2,523,997	2,544,739	2,570,187
医業利益	計画値	89,359	106,009	117,356	117,142	119,424
経常利益率	計画値	1.4%	2.1%	2.5%	2.4%	2.5%
人件費率	計画値	48.2%	48.2%	48.2%	48.2%	48.2%
期末借入金残高	計画値	811,650	692,000	566,975	462,575	384,425
病床利用率	計画値	84.7%	84.7%	84.7%	84.7%	84.7%
入院単価	計画値	32,288 円	32,611 円	32,937 円	33,267 円	33,599 円
外来単価	計画値	14,121 円	14,262 円	14,405 円	14,549 円	14,695 円

Ⅴ　運営基盤の整備

１．人材の充実

○　医師、看護師、医療技術部門の充実を図る

常勤医師の確保、常勤看護師の確保など不足部門の充実

奨学金制度での看護師確保

○　職員の離職防止に努める

二交代制の導入

保育室の夜間開室

ワークライフバランスの推進

○　技術向上のための研修会参加と資格取得に伴う経費等の支援を推進

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
職員充足率	計画値	90%	93%	94%	95%	96%
離職率	計画値	11%	11%	10%	10%	10%
研修費率	計画値	0.35%	0.35%	0.4%	0.4%	0.4%

２．施設整備の計画的推進

○　収益性の高い新規備品の整備の他、更新備品を中心に整備を行う

（単位：千円）

科目	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
土地	0	0	0	0	0
建物	0	0	0	0	0
建物付属設備等	10,000	10,000	10,000	0	0
医療用器械備品	30,000	60,000	30,000	30,000	80,000
その他の器械備品	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
その他の有形固定資産	0	0	0	0	0
有形固定資産（小計）	42,000	72,000	42,000	32,000	82,000
無形固定資産	0	0	150,000	0	0
繰延資産	364	364	364	364	364
資産取得額（合計）	42,364	72,364	192,364	32,364	82,364
短期借入金	0	0	0	0	0
長期借入金	30,000	45,000	180,000	30,000	55,000
リース（期間全額）	0	0	0	0	0
借入金・リース（小計）	30,000	45,000	180,000	30,000	55,000
国庫等補助金	0	15,000	0	0	25,000
その他の資本剰余金	0	0	0	0	0
寄付金等（小計）	0	15,000	0	0	25,000
資産売却	0	0	0	0	0
その他（自己資金）	12,364	12,364	12,364	2,364	2,364
資金調達額（合計）	42,364	72,364	192,364	32,364	82,364

３．情報システムの整備

○　会計システムの更新（新会計基準対応）　　→　平成 26 年度予定

４．ＳＲ（Social Responsibility；社会的責任）活動の推進

○　人権、コンプライアンスに関する研修会を継続し、強化していく

○　病院機能評価の評価項目を利用して、法令遵守を指導していく

○　個人情報保護に関する院内研修会の内容を充実させていく

○　院内掲示物（患者の権利等）の見直し

○　環境に配慮し、CO2 削減に向けた機器等の購入を検討していく

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
人権に関する研修の実施回数	計画値	2 件	2 件	2 件	2 件	2 件
障害者雇用率	計画値	1.6%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%
温室効果ガスの削減率	計画値	99.4%	92.6%	88.4%	88.4%	88.4%

５．保健・医療・福祉の研究の推進

○　ＭＳＷは医学福祉共同研究に積極的に取り組む。またその事を通じ、無低事業やなでしこプランの他日常の相談業務について、他の済生会病院と情報を交換・共有することで、専門職としての意識を高め、質の高い業務を目指す

○　各科に活動を推奨

○　済生会学会への参加の取り組みを強化

○　医師の講演活動を推進

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
学会発表件数	計画値	16 件	17 件	18 件	19 件	20 件

６．広報活動の充実・強化

○　新ホームページの開設及び内容の充実

○　第 100 回地域交流会開催を新聞に掲載

○　ホームページや広報を担当する職員の配置

○　「地域医療連携室だより」「診療予約のご案内」の発行の継続と内容の充実化

○　開業医や後方施設の訪問活動の継続

○　職員に対しては無低事業及び社会福祉に関する研修を定期的に継続

○　職能団体や研修活動に積極的に参加し、自院の情報や活動を関係者にアピール

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
ホームページアクセス件数	計画値	21,300 件	21,500 件	21,700 件	21,900 件	22,100 件
広報誌の発刊回数	計画値	15 回	15 回	15 回	15 回	15 回